



# Polaris news

【北高ニュース NO.202309】

## 「異文化理解講演会」 デジタル時代に複数言語を学ぶことの意味 (2023.12.06)

南山大学より牛田千鶴先生をお招きして、国際理解コース 2 年生を対象に講演会をしていただきました。スペイン語が世界に広がった歴史的背景や、世界の母語話者数ランキング、モノリンガルは世界では少数派であるということ、また複数言語を学ぶことの意味についてなどを教えて頂きました。生徒たちは、英語や多言語を学ぶことに対して改めて考えるきっかけになったようです。



### ■生徒の感想より

- 言語のほかにも、宗教や文化にも興味がわきました。
- スペイン語やスペイン語圏のことをもっと詳しく勉強してみたいと思いました。
- 機械を使うよりも人間の声で実際にした方が、感情がより伝わるコミュニケーションができると思いました。
- 外国語を学ぶ上で、話すことも大切だが、読む、聴く、文法も必要だということを知り、もっと深く学んでいこうと思いました。
- 世界ではモノリンガルよりバイリンガルの方が数が多いという話を聞いて、海外研修旅行で訪れたマレーシアの人々がまさにそうだったなあと、今回の講義と実体験をリンクして学ぶことができ嬉しかったです。
- 言語を学ぶことは、異なる文化、社会を深く理解し、相手の心に寄り添い共感することができるということだと学びました。
- 言語学習は、言葉だけを形式的に学ぶだけでなく、その言葉を話す国についての理解をすることの重要性を知り、国の背景まで自分から興味を持ち調べようと思いました。